

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つないで、つないで、一つのお話	1	<ul style="list-style-type: none"> 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) 	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、これまでの学習をいかしてお話作りに取り組もうとしている。
準備	1	<ul style="list-style-type: none"> 詩を音読することができる。(知・技(1)ケ) 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) 詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 詩を音読している。((1)ケ) 	「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	進んで詩を音読し、学習課題に沿って感じたことを伝え合おうとしている。
伝わるかな、好きな食べ物	1	<ul style="list-style-type: none"> 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)カ) 	比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)カ)	積極的に表現を工夫し、これまでの学習をいかして互いの文章を読み合おうとしている。
帰り道	5	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	進んで登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、学習の見直しをもって印象に残ったことについて考えを伝え合おうとしている。
公共図書館を活用しよう	1	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) 	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。((3)オ)		進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようとしている。
漢字の形と音・意味	2	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ) 第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 漢字の由来、特質などについて理解している。((3)ウ) 		進んで漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして漢字を文や文章の中で使おうとしている。
春のいびき	1	<ul style="list-style-type: none"> 語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 身の回りで感じた「春」を、俳句や短歌に表す。 	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして俳句や短歌を作ろうとしている。
聞いて、考えを深めよう	6	<ul style="list-style-type: none"> 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) 	<ul style="list-style-type: none"> 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) 	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	進んで話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習課題に沿ってインタビューをしようとしている。

漢字の広場①	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして記事を書こうとしている。
笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	7	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。
文の組み立て	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。(知・技(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文の中での語句の係り方や語順について理解している。(1)カ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで文の中での語句の係り方や語順について理解し、これまでの学習をいかして設問に取り組みようとしている。
たのしみは	3	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つげることができる。(思・判・表B(1)カ) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ) ・語句の係り方や語順、話や文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見つけている。(B(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見直しをもって短歌を作り、積極的に短歌に対する感想や意見を伝え合おうとしている。
天地の文	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで言葉の響きやリズムに親しみ、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
情報と情報をつなげて伝えるとき	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報と情報との関係づけのしかたについて理解を深め、学習課題に沿って報告書を書き直そうとしている。
デジタル機器と私たち	8	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ) ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章全体の構成や展開を考え、学習の見直しをもって提案する文章を書こうとしている。

夏のさかり	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
私と本 星空を届けたい	5	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	進んで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかしてブックトークをしようとしている。
せんねん まんねん 名づけられた葉	2	・比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ・詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	積極的に表現の工夫に気づき、これまでの学習をいかして考えたことを伝え合おうとしている。
いちばん大事なものは	2	・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ)	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	積極的に考えを広げ、学習課題に沿って考えを尋ね合おうとしている。
インターネットでニュースを読もう	3	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つめることができる。(思・判・表C(1)ウ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ)	文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ)	・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとしている。
文章を推敲しよう	2	・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知・技(1)カ)	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	進んで文章全体の構成や書き表し方などに着目し、学習課題に沿って文章を推敲しようとしている。
漢字の広場②	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
やまなし	8	・比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ)	・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) ・比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)	「読むこと」において、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ)	粘り強く物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって作品世界について考えたことを書き、伝え合おうとしている。

漢字の広場③	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ)	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして物語を書こうとしている。
熟語の成り立ち	2	・語句の構成や変化について理解することができる。(知・技(1)オ) ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(知・技(1)エ)	・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・語句の構成や変化について理解している。(1)オ)		進んで熟語の構成についての理解を深め、学習課題に沿って熟語を探したり組み合わせを考えたりにしようとしている。
秋の深まり	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして俳句や短歌を作ろうとしている。
みんなで楽しく過ごすために【コラム】伝えにくいことを伝える	6	・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思・判・表A(1)オ) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)	・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。(1)ア) ・思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っている。(1)オ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	粘り強く考えを広げたりまとめたりし、学習の見直しをもって話し合おうとしている。
話し言葉と書き言葉	1	・話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ)	話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。(1)イ)		進んで話し言葉と書き言葉との違いに気づき、これまでの学習をいかして設問に取り組もうとしている。
古典芸能の世界 狂言「柿山伏」を楽しもう	2	・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知・技(3)イ) ・親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	・親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) ・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。(3)イ)		進んで昔の人のものの見方や感じ方を知り、これまでの学習をいかして「柿山伏」を音読したり演じたりしようとしている。

『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく	10	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思・判・表C(1)ウ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ・事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思・判・表C(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ) 	粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見直しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。
カンジー博士の漢字学習の秘伝	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。(知・技(1)ウ) ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・第6学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 		工夫して漢字学習を行うことに進んで取り組み、これまでの学習をいかして漢字を正しく書こうとしている。
漢字の広場④	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) 	第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)	積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
ほくのブック・ウーマン	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) 	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ)	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) 	進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
おすすめパンフレットを作ろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)エ) ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)	進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。
冬のおとずれ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 	語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に季節を表す語彙を豊かにし、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。

詩を朗読しようかいしよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を朗読することができる。(知・技(1)ケ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知・技(3)オ) ・詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を朗読している。((1)ケ) ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 	進んで詩を朗読し、これまでの学習をいかしてお気に入りの詩を紹介しようとしている。
知ってほしい、この名言	4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 	進んで集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習課題に沿って名言を紹介しようとしている。
日本の文字文化	2	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。(知・技(1)ウ) ・語句の由来などに関心を持ち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知・技(3)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((1)ウ) ・語句の由来などに関心を持ち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(3)ウ) 		進んで仮名及び漢字の由来、特質などについて理解し、これまでの学習をいかして適切な表記を考えようとしている。
漢字の広場⑤	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 	積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
「考える」とは	6	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知・技(1)カ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。((1)オ) ・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 	粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
使える言葉にするために	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 		進んで第6学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、読み方や意味が分からない言葉を辞書で調べようとしている。
言葉について考えよう 日本語の特徴	3	<ul style="list-style-type: none"> ・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)オ) ・文の中で語句の係り方や語順について理解することができる。(知・技(1)カ) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ・文の中で語句の係り方や語順について理解している。((1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 	進んで日本語の特徴について理解を深め、学習課題に沿って日本語の特徴を紹介する文章を書こうとしている。

大切にしたい言葉	6	<ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知・技(1)才) ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)才) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見直しをもって大切にしたい言葉に対する思いを書こうとしている。
今、私は、ぼくは	6	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知・技(1)イ) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知・技(1)キ) ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。((1)イ) ・日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。((1)キ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫し、学習の見直しをもって自分の思いや考えを伝えるスピーチをしようとしている。
海の命	6	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思・判・表C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習の見直しをもってそれぞれの人物の生き方に対する考えを話し合おうとしている。
漢字の広場⑥	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に第5学年までに配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知・技(1)ク) ・詩を朗読することができる。(知・技(1)ケ) ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表C(1)オ) ・詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思・判・表C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク) ・詩を朗読している。((1)ケ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、詩を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に6年間の国語学習を振り返り、これまでの学習をいかして、詩を読んで感じたことを伝え合ったり、文章に対する自分の考えをまとめたりしようとしている。